平成３０年１２月１７日

平成 30 年度　上津役中だより

北九州市立上津役中学校
校　長　　森　　隆

No.８

ポインセチアの花が目立つ季節となりました。保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のことと存じます。さて、来週一週間で今年の学校生活も終わり、冬休みに入ります。その前に、この一年を振り返って保護者会が行われます。特に３年生は、自分の進路を決定する大切な話し合いです。目標を具体的にすることで本人のやる気を喚起しましょう。１年生・２年生においても大切な学習や日々の学校生活について振り返り、来年へつなげる良い機会です。担任の先生と保護者、そして生徒の皆さんの三者が話し合うことは、非常に有意義なことです。まず、生徒・子供の良さ「この一年で頑張ったところ」を認めてあげましょう。子供は、誰でも頑張ろうとしています。それを家庭で最も近くにいる保護者が、学校で多く関わっている担任の先生が認め、褒めることで子供のモチベーションが高まります。もし、頑張ったところが見つからないとしたら、何が原因なのかを話し合い、これからの目標を定めましょう。「叱るよりも目標を持たせる。やる気を出させる。」ことが肝要です。そんな三者面談になれば、と思っています。

先生方も頑張っています！

◇　松村先生のモデル授業

11 月 13 日の６校時に、学力体力向上推進員である松村先生が、１年４組で社会科の研究授業を行いました。９ 月は、若手の先生方に対して、良いモデルとなる授業を実践してくれましたが、今回は本校全員の先生方が参観し、松村先生の素晴らしい授業を観て学びました。「世界の諸地域　アフリカ州」をいう単元で、「資源は豊富なのに、なぜアフリカ州には経済的に苦しい国が多いのだろうか。」というめあてで授業が行われました。何よりすごかったのは、４ 組の生徒全員がこのめあてを真剣に考え、面白がって発言していることでした。もちろん、先生の発問に積極的に発言していたことも素晴らしかったのですが、各グループの中でお互いに活発な話し合いが行われていたことに驚きました。

大前君・小林君が堂々と発表している

１年４組の生徒が下校した後、先生方は、研修会を行い、今後の授業の在り方について話し合いました。

先生方も、生徒の皆さんに少しでも「わかって楽しい。考えることが面白い。」と思えるような授業になるよう工夫していきたいと考えています。先生方の想いも是非わかっておいて欲しいと思います。

◇　西山先生の研究授業

西山先生の説明を真剣に聞いている生徒と先生

11 月 15 日の 5 校時に、八幡西区の保健体育科の先生全員が本校武道場に集まり、2 年 3・4 組女子を指導する西山先生の授業を見学しました。「本けさ固めを使い、相手の動きを制すポイントを見つけよう」というめあてで、生徒たちは、柔道の固め技について真剣に考えて話し合っていました。そして、生徒同士が仲良く学び合う雰囲気があり、全員の生徒が、抑え込みの攻防をするミニゲームを心から楽しんでいました。先生の一人一人の気持ちを大切にする指導が生徒に伝わり、温かい雰囲気の授業になっていて、見学する我々もすがすがしさを感じました。西区の保健体育科の約 100 名を超える先生方からは、「和やかな雰囲気で意見が出しやすい。」「生徒が意欲をもって話し合い活動をし、実践に生かしていた。」「何よりも生徒が楽しく生き生きと柔道に取り組んでいる。」などの最高の賛辞を頂きました。西山先生は、「今後へ向けてのアドバイスも頂き、さらに素晴らしい授業になるように頑張ります。」とおっしゃっていました。

部活動で、本気で頑張る姿に感動！

◇　剣道部

大将田川君（右）の鋭い踏み込み！

和氣君（左）のつば競合いでの気迫！

11 月 10 日、男女ともに的場池体育館で市内大会が開催されました。

男子は 3 チームの予選リーグで、1 勝 1 敗の 2 位。決勝トーナメントに進めませんでしたが、素晴らしい戦いぶりでした。初戦、門司の松ヶ江中との対戦では、先鋒から大将まで 5 人の戦いが 1 勝 1 敗 3 分けでしたので、双方から代表者が 1 名出て戦う代表戦に勝敗が預けられました。そこで田川君が見事「面」を決め、勝利しました。田川君の集中力に感激しました。そして強豪の小倉日新館中との対戦では、5 人の対戦で 2 勝 2 敗 1 分けでしたが、取った合計本数の差で惜敗しました。小倉日新館は、市内大会でも常時上位にある学校です。その学校に接戦を演じることができたことは、上津役中男子剣道部にとって大きな自信となりました。

大将衞藤さん(右)の「面」で１本！

副将大村さん(左)の鋭い面打ち！

女子は４チームの予選リーグで、１位通過。決勝トーナメントに進みました。八幡東区の中央中と小倉北区の篠崎中との対戦では、先鋒から大将まで５人全てが勝利し、圧勝でした。田原中との対戦では５名全員が引き分けで大接戦となりましたが､代表選に出場した衞藤さんが延長の末、面で１本とって見事予選１位で決勝トーナメント進出しました。決勝トーナメントでは、初戦が小倉南区の曽根中で、２勝２敗の１分けで互角の戦いでしたが､5 人の獲得本数が５本で相手の３本を上回りましたので、勝者となりました。準決勝の相手は、洞北中でしたが、１勝３敗１分けで惜敗しました。3 位決定戦では、引野中と対戦しましたが、5 人共圧勝し、5-0 の完全勝利でした。市内大会終了後は、本校剣道部をずっとコーチしてくれている上津役小学校の筒井校長先生が、「あの子たちは、まだまだこんなもんじゃない。県大会でも上位に行く実力があります。これからの活躍に期待しています。」と言われていました。本校の秦・松村・大村先生も同じように考えておられました。

中堅瀬戸さん(右)の「面！」高レベルの相打ち

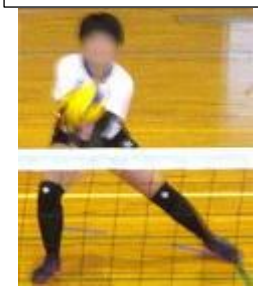
12 月 9 日に、九電記念体育館で県大会が開催されました。古賀中、育徳館中、上津役中の３校の予選リーグで１位のみが決勝トーナメントに進出できる組み合わせでした。古賀・育徳館の両校とも県大会出場を勝ち得てきたチームだけに強豪でした。結果は、2 試合共に完敗で、5 人の対戦で古賀中とは０勝３敗２分け、育徳館中とは１勝４敗という内容でした。そのうちの１勝は、大将衞藤さんの２本勝ちでした。また、育徳館中との対戦では、次鋒の藤本さんが負けはしましたが、相手から先に１本とった時は、見ている保護者や応援している男子剣道部から歓声が上がりました。みんなで喜んだ１本でした。翌日、松村先生は「県大会の壁の厚さを感じました。完敗でしたが、課題が見えてきました。これからの成長が楽しみです。私も今から防具をつけて生徒とともに汗を流し、個人個人の実力を高めたいと思います。」と言っておられました。私はこの言葉に感銘を受けました。武道は「礼に始まり礼に終わる」と言われますが、剣道部は日頃からとても挨拶が素晴らしいです。日頃の筒井・秦・松村・大村先生のご指導の賜物です。松村先生の想いが生徒の礼儀、そして実力アップにつながることを信じています。

◇　バレー部

左から佐藤（前）・満行（打）・深島（後）さんのサーブ

11 月 10 日と 11 日に、本校と黒崎中で、区内大会が行われました。女子は、3 チームの予選リーグで 1 位となり、決勝トーナメントに進みました。準々決勝では引野中と、準決勝で沖田中と対戦しましたが、いずれも圧勝でした。決勝の木屋瀬中との対戦も 1 セット目 25 対 19、2 セット目 25 対 15、セットカウント 2-0 で勝利しました。区内大会で 5 試合しましたが、全ての試合で 1 セットも落とすことなく、しかもセットで 20 点取られることもなく、見事区内大会優勝の栄冠を勝ち取りました。優勝して大喜びする生徒と保護者の姿を見ると、私も本当に嬉しい気持ちになりました。日々の厳しい練習の賜物だと思います。

リベロ柏木さんのナイスレシーブ



11 月 24 日、区内の女子 1 年生大会が行われました。区内新人大会と同様に、見事優勝しました。決勝戦の相手は、新人大会と同じく木屋瀬中学校。セットカウント 1-1 で、フルセット（15 点先取で勝利）12-14 の敗退寸前から逆転勝利しました。1 年生の保護者からは、「2 年生も必死に応援してくれてチームが一つにまとまった素晴らしい試合で、感動しました。」とお話を伺いました。

主将海野君（1 番）のトスを山本君（4 番）がアタック

男子は、3 チームの予選リーグで引野中に惜敗、本城中に完勝しました。1 勝 1 敗の予選 2 位で準決勝に進みました。準決勝の相手は、県大会に出場するような強豪の千代中でしたので、善戦はしましたが敗退しました。3 位決定戦では、予選で敗退した引野中と再度対戦しました。1 セット目 23 対 25、2 セット目 29-31 で、セットカウント 0-2 でした。特に 2 セット目は、24 対 24 のジュースからお互いに 2 点先取ができずに 29 対 29 まで粘り、すごい接戦となりました。最後は、先に 31 点を取った引野中に惜敗しましたが、本校男子バレー部の集中した眼差しと必死にプレーする姿には感動させられました。

原田君の素晴らしいサーブレシーブ

12 月 1 日、区内の男子 1 年生大会が行われました。永犬丸中 A・B・C の 3 チームと則松・本城中の合同チーム、上津役中の計 5 チームのリーグ戦を行いました。リーグ戦 4 試合で、3 勝 1 敗の準優勝という結果でした。試合は 1 セットマッチで、3 勝した試合は、全て圧勝でした。優勝した永犬丸中 A チームとは、22-25 で惜敗でした。男子は、まだまだこれから上手くなるだろうというチームが多く、見ている保護者もほのぼのとした雰囲気で応援されていました。男女共、市内大会が、新チーム（1・2 年生）が 12 月 25・26 日に、1 年生大会が 12 月 27 日に行われます。3 日間全て、北九州市立総合体育館で行われます。心から応援しています。

◇　合唱部

西区中学校の合同合唱。美しい歌声が会場全体に響き渡った！

11 月 7 日、黒崎ひびしんホールで、八幡西区中学校の連合音楽会が行われました。各学校の部活動や学年が演奏を披露しましたが、最後に、西区 10 校の合唱部が合同合唱を行いました。上津役中学校合唱部 20 名も加わり、壮大なスケールで迫力のある合唱が披露されました。曲は「ホームソングメドレーより『イタリア編』サンタルチア～帰れソレントへ～オーソレミオ」と「オラトリオ『メサイア』より『Hallelujah』」でした。

この日の為に、本校の合唱部もひびしんホールに何度も足を運び、合同練習を重ねてきました。音楽が大好きで、美しい歌声を出すことを楽しみ、日々声を鍛え、練習している合唱部の皆さんの合唱は、観客の我々に大きな感動を与えてくれました。ありがとうございました。

◇　ボランティア部

11 月 10 日と 11 日に、上津役市民センターで、「上津役まつり」が開催されました。2 日目の 11 日に、本校のボランティア部 10 名がお手伝いに行きました。朝 9:00～16:00 まで働き、地域に貢献しました。様々なゲームのお手伝い、幼稚園児や小学生、地域の方々の舞台の幕引き・準備、そしてパウンドケーキの販売など、奉仕の心をもって働きました。幼い幼稚園児から地域のお年寄りの方まで、延べ約 3 千人の方々が来場されたそうですが、その中でお手伝いをして、いろいろな方々と交流を深めたことも有意義だったと思います。お疲れ様でした。

12 月 8 日にも世代間交流福祉餅つき大会に参加し、活躍しました。野球部 1・2 年生とボランティア部の男子は、餅つきのつき手を担当しました。ボランティア部の女子は、キッズクラブの受付や小学生の活動のサポートをしました。

ワンポイントコーナー

アメリカの経営者・政治家に「ジョン・ワナメーカー」という有名な人物がいます。
その人物の言葉
「尽くすということを誠実に試みる若者には、世界も、また彼に尽くすことを忘れない」
ボランティア部にぴったりの言葉です。

※　ジョン・ワナメーカーは、アメリカ・ペンシルバニア州出身の実業家。しばしば「百貨店王」と称される人物。ニューヨークをはじめロンドンやパリなどにも百貨店を出店し、大きな成功を収めた。

◇　ダンス部

11 月 10 日、北九州芸術劇場大ホールにて、北九州ダンスフェスティバルが開催されました。パンフレットの「参加校紹介の中」のコメント欄に次のように書かれていました。

上津役中ダンス部のテーマは「私たち自身の心、そして成長」です。私たち中学生は今、まさに子どもから大人への成長を遂げようとしています。時には楽しく、時には思い悩み過ごしていく毎日の中で、未来をつかみ取ろうとする、その揺れ動く心をダンスにしました。振り付けは、私たち自身で考えました。葛藤や悩みも、ダンスで表現するので注目して見て頂きたいです。『青春！私たちの生きる今日が素晴らしい』一生懸命踊ります。応援よろしくお願いします。

上記の通り、中学生という思春期に揺れ動く心「葛藤や悩み」が表現された素晴らしいパフォーマンスでした。「サム・スミスの la　la　la」と「WANIMA のやってみよう」という曲に乗って、楽しそうに、生き生きと輝く一人一人の表情も素敵でした。そして、25 名全員がまとまった動きをするので、迫力があり、感激しました。中学生の部は８校が出場しましたが、「ダンスフォーザフューチャー賞」（実質３位）を受賞しました。ダンスが終わった後、中心で活躍したダンス部員２名から「この３年間お世話になった西山先生に、今まで取れなかった最優秀賞を取って喜んでもらいたい。」という言葉を聞いたときに、私はダンス部の心の温かさと西山先生との深い絆を感じました。

◇　バスケット部

11 月 8 日に男子バスケット部が黒崎中学校で区内新人大会 1 回戦が行われました。初戦は、穴生中と対戦しました。どちらが勝つかわからないという実力がほとんど変わらず、拮抗したゲームでしたが、最後は 10 点近くの差をつけて勝利しました。三船先生は、「チームが一丸となって戦ったからこその勝利で、選手は本当によく頑張った。」と言っておられました。9 日は上津役中学校で行われ、市内でも屈指の強豪浅川中との対戦でした。前半から着々と点を重ねられ、前半は全く歯が立たない状況でした。しかし、決してあきらめない黙々とプレーする姿に心を打たれました。浅川中がどんどんスタメンのメンバーを外す中、上津役中はひたむきに頑張りました。最後まで走りまわり全力を出し切った本校バスケット部にエールを送ります。これからの成長に期待します。

献身的に走り回る塩塚君の華麗なドリブル

佐藤君(右)のフリースローで得点！

11 月 9 日に女子バスケット部が上津役中学校で区内大会 2 回戦が行われました。第 2 シードである上津役中は、初戦黒崎中と対戦しました。最初から黒崎中を圧倒し、前半で 44-3 と大量リードを奪いました。大量点を奪って大差をつけても全く手を抜かないプレーは、素晴らしかったです。後半上津役中は、何人もの選手が入れ替わり戦いましたが、どの選手が出ても必死にひたむきにするプレーは同じでした。ベンチに下がったメンバーも出ている選手を応援する姿は、上津役中のチームワークの良さを感じました。最後は 76-11 という大差で勝利しましたが、決して驕らず全力で戦いきったという雰囲気が保護者に挨拶する姿に表れていました。

矢辺さん：低い姿勢からの正確なフリースロー

中嶋さんの鋭いドリブルシュート

そして 12 月 15 日、的場池体育館で準決勝が行われました。対戦相手は、実力が拮抗している永犬丸中との対戦で、前半終了時点で 29 対 29。一進一退互角の戦いでした。しかし、徐々にリードされ始め最終的には 58 対 69 の 11 点差で惜敗しました。その悔しい想いをもって沖田中との 3 位決定戦に臨みました。沖田中とも実力が変わらず、前半終了時点で 25 対 29 でした。しかし、最後は 47 対 59。12 点差で惜敗しました。結局区内大会 4 位という成績でしたが、区内ベスト 4 の中で最も悔しい想いをしたのは上津役中でした。「ピンチはチャンス」と言います。1 月 12 日・13 日の市内大会へ向けて、この悔しさをエネルギーに変えて本気で練習に臨みましょう。何が足りなかったのか、11 点・12 点の差は何なのか、どんな練習が必要なのかを小笠原先生・三船先生と一緒に考えて課題を克服してください。ピンチを乗り越え、チャンスをものにする時にこそ、皆さんの大きな感動と成長があります。そしてまた、今大会も男子バスケット部と多くの保護者方の声援があったことに、感謝の気持ちをもっていて欲しいと思っています。

本校生徒会が、八幡西特別支援学校交流会で、大いに楽しみました！

11 月 22 日の期末考査最終日に、本校生徒会が八幡西特別支援学校との交流会に参加しました。はじめは、緊張していましたが徐々に慣れてきて、楽しいゲームができました。八幡西特別支援学校中等部の生徒は、足が不自由で車椅子に乗っている人ばかりではなく、手も自由に動かなかったり、言葉が上手く出なかったり、障害の為にいろいろなことに不自由な生活をしています。しかし、この交流会では、上津役中の生徒会執行部の人たちと風船バレーをする中で、多くの笑顔が見られました。風船が上手くはじけなかったり、思う方向に飛ばせなかったり、反応が遅れたりして、できないことの方が多いのですが、今できる最大限のことをして喜びをかみしめているように感じました。特別支援学校の職員の方々が、少しでも楽しい雰囲気になるように一生懸命に盛り上げ、それに乗って上津役中の生徒たちも笑顔で楽しくやっている姿がとても印象的でした。見ている我々が温かい気持ちになりました。

3 年生が、クラスマッチで、力いっぱい楽しみました。

11 月 30 日に、男子は本校体育館でバレーボールを、女子は本校グラウンドでハンドボールを行いました。男女とも日頃の受験勉強のストレスを発散するかのように盛り上がり、大いに楽しみました。自分たちの試合がない間に、男子はグラウンドに、女子は体育館に行って張り切って応援しました。優勝は男女ともに 1 組、準優勝は男子 3 組・女子 1 組、第 3 位は男子 2 組・女子 3 組でした。男女優勝した 1 組は、もちろん大喜びですが、結果に関係なくどのクラスも楽しい時間を共有できました。3 年生は、今自分の進路に向かって頑張っているだけに、「この時間は楽しむぞ！」という想いの屈託のない笑顔が、とても輝いていました。